京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太郎
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六(三)）
發行所　京城新報社

雜報

藤田院長の講演（三）
▲ペスト豫防心得▼

四、食物の置場

之れも鼠の出入する處には置かない樣にしなければなりません何んでも容器には蓋の設けが必要であります之れは極容易な事で僅二十錢内外位で出來ましようと思ひます之に容れて鼠の喰はぬよふ樣にすることゝ其他何れでも食用品容器には注意をすることを忘れぬよふ炊夫召使其他の從業者には嚴重に言渡し置くことが必要であります

五、食物殘屑の處置

食物の屑の處置法は尤も注意を要します此等のものは鼠の取得になります之れ等は密詰した樣な金屬製の蓋のあるものを備へて其中へ入れて置き隨時衞生會の掃除夫が來た時に渡すと云ふ事に致して居る家もあります又食物がなくなると鼠が生活難を訴へ竈筒や板戸などを嚙るものですが之れには避易せずに益々食物なるものを嚴重に取締れば食物なき家に生活は出來ぬから遂に其家に居れなくなつて食物の取亂してある家に移住することになります茲に於て始めて豫防の次第であります北里先生が日本に來られました時猫を澤山飼つて鼠を取らしたが宜しからふと云ふことでありました世界一斯道の大家の教としては餘り卑近なりと嘲ける人もある樣ですが食庫や家屋を完全にして鼠の出入が出來ぬ樣にするには中々之れは金が掛りますから今日我が民度では六ケ敷問題だから矢張猫を飼ふか器械で採るかが宜しいのです私は明治二十年に伊豆の七島を廻り大に感じた事があります夫れは御承知の東京灣を出ますと常に噴火の烟を出して居る伊豆の大島が見へます此島に上陸した時犬が一匹も飼はれてない甚だ奇異の感を起しましたので調べて見ました處が此大島は先年野鼠が非常に殖て農作物が鼠害に罹り人民が飢へると云ふ次第になりました此時文武の道に名高き江川太郎左衞門とて當時の御代官が猫を飼ふことを布告したが猫を害し目るものは犬だと云ふとてころから犬の飼育を禁じた夫れで猫が漸次殖へて來て遂に鼠害を除いたと云ふことで我々山野を跋渉するに屢々野猫に出逢ました

第二期 吾人の居住地、ペスト流行の場合

前に述べました國家防疫軍が細微に且つ堅固なる豫防線を張りて嚴重なる警戒をなしつゝありますが萬一不幸にして敵が我地に這入り込んだ場合は如何するかの問題であります此時に當りましては愈々前に第一期として述べましたる方法の勵行時で

一 第一期の警戒勵行

則ち土地の清潔法の勵行と大掃除驅鼠とを續行してペスト菌の蔓延を防ぎ微れをして毫も活動の餘地なき樣にすることが尤も肝要です二、同一郡内及邸宅内召使人殊に通勤人の取締此等使用人は其家に依り多數を要するものと全く無き家もありますがペスト流行時は可成使用人を減ずるを宜しとす之等の人は多くは教育の少ない人等であるから已上述べましたる方法を悉く會得せしめ置きましても中々油斷がなりません殊に通勤使用人に於ては其住宅の清潔法も不行届のもの多く亦概して貧民流行時は通勤を止め我邸内に詰切らしむることが肝要であります不得止ば構内の一隅に脱衣室を設け之の處で衣類を着換せしめ仕事衣を着せしめ亦歸らしむるときは前の服と着換へしむるのです亦是等の人は食物の調理とか亦日用の事に從事するものが多い隨て手を切るとか擦りむくとかするものがありましても僅の疵では睡位を付けて放任し置くものでありますから是等は實に危險であります ペストの黴菌は前述べました通微細なものでありますから目に見ねない疵からでも何ぞと云ふ黴菌が這入るものだと云ふことを知らして置き、若しや疵でも出來たと思ふ時は直に消毒の方法をなすか治療を加へるか絆創膏を張るかなどして病毒の侵入を防かねばなりません

●朝鮮行政問答

二日委員會にて荒井政府委員は質問に對し大要左の答を爲せり

△憲兵補助費　百五万圓とあるは朝鮮人憲兵四千三百五十一人（一人宛月十圓）の警護費にして日本人巡査の分は陸軍省に仰ぐ

△土地調査費　百七十五萬餘圓は昨年中第一期調査を終りたれば今年第二期調査に入る費用にて土地の地位等級調査をなす

△教育補助費　[illegible]は朝鮮人のための補助費にして[illegible]は與らず

△小農資本費　五十二萬圓餘は韓國人の農業組合三十ケ所を組織し一ケ年平均一萬圓支給の豫定なり

△沿道費　二百卅七萬餘圓は更に五ケ年計畫を以て五百八十七哩廿六鎖の路を作る豫定なるが其道巾は三間乃至四間なり

△基督青年會補助費　四千七萬圓は實業的教育の爲に支給するものにして宗教的のものに非ず

べく可決たり

外事一束

▲英帝と各新聞　英帝誹謗事件は高等法院判決の結果其誹毀者は誹毀罪の極刑に處せらる而して此判決あるや從來沈默を守れる倫敦各新聞は異口同音に被告の罪を鳴らし皇帝陛下に對し臣民の同情を表し離宮より還御の際の如き市民は宮門前に蝟集し熱誠を罩めたる

▲病チ氏の宣誓　新議員に當撰せる英國前殖相チエンバーレン氏は令息及自黨議員に擁せられ二個の杖に其病体を凭たせ議院に出頭して英國慣例の宣誓を爲し名簿に署名せり此光景を目撃せるもの皆氏が奮闘時代を偲び私かに暗涙に咽び居たりと云ふ

▲錫總督の頑迷　錫良三省總督が事毎に排日的氣勢を煽はりつゝあるは痛嘆すべき次第なるが今回攝政王に電稟して曰く日本は口をペストの防疫に藉りて清國の内政に干渉を試みんとすと何んぞ其言の妄誕無稽なる頑冥も茲に到れば寧ろ愛嬌あり

▲エーメン戰況　土領亞剌比亞エーメン州ボダーダ港とエバーもの間に於て土國討伐隊と叛軍との間に激烈なる戰鬪あり土軍は山砲一門を失ひ戰死五十名を出し叛軍に於ても亦二百名の戰死者ありて頗る慘劇を極む

▲獨逸の極東費　獨逸議會は天津租界地沿への築港費一万五千馬克を否決し之に代ゆるに同地裁判所建築費を可決し又膠州灣の勤官吏住宅料を支出す

○新刊紹介　日韓上古史の裏面

東京偕行社の發販、保序卷に序して曰く日鮮韓の事跡が其記述與略せして一致せざるもの甚だ多し是れ易姓革命の頻出せる邦國に在ては往々歴史上の事實を矯めて以て爲政者の便に供したればなりと眞に然り吾等淺學の徒の其適從する處に迷ひ信憑の基礎を失ひつゝある所以のもの蓋し之が爲めならずんば非ず本書は西川權氏の著にして參謀本部の委囑に應じ多年の討究考覈を編成せるものなるが其考證の範圍頗る汎く日漢韓に亘たりて苟くも現存せる古書は悉く之を獵涉しあるか如き著者の精力絶倫なるを窺ふに足る更に本書の爲めに大に多とし其價値の一層高きを感じたるは漫りに推理斷定を避け涽沒史要の捜索に便するを以て主とせるは一般の消々たる巷間の史籍と其撰を異にせるに在り而して上中下の三卷に別ち各四百餘頁の大冊なるが秩序整然條理一貫して且つ挾むに數十葉の形勢地圖を以てし時代的變化推移の跡を明かにしあるが如き彼是相待ちて殆んど遺憾なし思ふに天智帝以前の上古史中容易に見るべからざるの好著たるを確信し大に著者の勞に向つて感謝する所以なり



山中鹿之助　七十四回　西尾麟慶演

茲で楓が古猪之助が國許を發起いたして後、計らず出來いたせし椿事を物語りましたから、古猪之助の驚き一方ならず、時に無念の涙を拂つて大谷は、大「然ることとて候ふか、爰とや御父君相木御夫婦、某し數日以前に君の嚴命を蒙り、信州の深山に隱遁なさるゝ森之助さま御夫婦をお尋ね申し、尼子の家臣となつて鹿之助さまが御身の上を委しう言上いたせしに、深く喜ばれて又た哀まれ、充れば缺る世の中に未だ喜びは半ばなるぞ、汝の國許を出でし跡にて凶事あらんけれど、假令ば凶事ありとも氣遣ふなかれ、前三ケ年の後開運の時あらんと、御意ありまして御暇を賜はり、經路計らず道迷ひ、又丹波太郎が狼藉をフト耳より聞き出だし、助けやらんと此の家へ泊つて容子を見るに、果せるかな多人數の女子の難儀助けやらんと事の始末、爰に[illegible]候ふによりまして、決して御心配御無用なり、お告の如く三年經ば運よう開きまする時も御座ひませう、又鹿之助さまは何れにおはしますると」此の言葉に、九重姬は扨は良人が父公への使ひ、父上母上さまの仙境におられて、異人となられ然あるお告げのありしことかと思ひ、扉を開ひて厨子のやうな形に製へまして、昔しの姿何處へやら、痩たる[illegible]に觸れました鹿之助の姿を示しますれば古猪之助涙をながし、元の如くに扉を締め、偖て語るやう　大「此の上は只だ徒らに此の御厨子を脊負ひ參らせて、回國いたしたとて詮なかるべし、古き帝が御影に有馬の溫泉について

三日月の湯盤にうつる影見れば
不具も癒、七日〳〵に

と[illegible]御座る、此の溫泉に入浴して、お身體を癒し奉つらん、夫れより他に仕樣も御座るまい」と云ふを聞た楓が　楓「成程御尤もの御說で御座ひます」と九重姬にも大ひに喜ばれ是に御同意で御座ひますから　九「兩人にてよき計らひ玉はるべし」と申されました、茲で翌朝發足いたしませうと云ふので、此の家に捕はれになり居りまする良家の娘又は女房どもを夫々に人の通ひまする道まで送つて放ち遣りました、此の者等の喜び一方ならず追つけ家々に無事に歸りましたで御座ひませう、扨て泊りを重ね日を追て攝州名代の有馬の溫泉に着きまして、是れから一生懸命九重姬は鹿之助の介抱に餘念もなく、九重姬には常に觀世音菩薩を念じたまふ、觀音經の普門品にもあまする通り。第二十五の偈文に衆生困厄をかうむッて無量の苦身をせめんに、觀音の妙智の力、能く世間の苦をすくふ、神通力を具足し、ひろく智の方便を修して十方もろ〳〵の國土に刹として身を現ぜざることなし種々のもろ〳〵の惡趣、地獄鬼畜生、生老病死の苦、以てやう〳〵にさく〳〵滅せしむ。とある、然れば如何なる事なればとて觀音の妙智の力よく衆生の困厄を救ひたまふとある、御佛の金言僞りならず然らば以て觀世音の御力願ひたてまつらんと、是より有馬の溫泉の片ほとりに寂たる觀世音の祠が御座ひます、是れへ毎夜丑の時參りといふ、丑みつ時を計りまして三七二十一日の間、お通ひになる、度々途中に於て怪しきことに出會ひ、種々の障碍を蒙りましたが臆せず通ひます、全たく信心御佛の感應まし〳〵てや、遂に鹿之助は全快いたし、以前の山中鹿之助と相成りまして、三度の食事も常に異らず、勇氣充々たるところの再び幸盛に産れ出でたる如く相成りましたから、爰で人々の喜び一方ならず、何やかやで日數凡そ一百日、九重姬の貯への金も殘り少なく相成りましたから、茲で打揃つて京都中御門數之卿の御館へ參りました、爰に圖らずも勝丸及び五月早苗之助も居合はし其の喜びといふものは數之卿始め、一同手の舞足の踏むも知らざるが如く、山中鹿之助、五月早苗之助、大谷古猪之助、九重姬、楓、幼君勝丸君これだけが無事なる面會を致しました。



購賣廣告

一　[illegible]旗　七千六百九十枚

右購賣ヲ競爭入札ニ付ス詳細ハ二月七日朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ

明治四十四年二月七日

朝鮮總督府

京城新報

兵役免除と移住民

▼血稅以上の義務

顧みれば半島併合の大業決行せられて既に將さに半箇年に垂んなんとする、並し國家百千萬年の生命より觀れば分秒時の短きにも足りないが、然れども幸にして萬般の施設着々効を奏し都鄙到る處靜謐を極め、嘗て何等憂ゆべき兆候を見ざるは大に慶賀すべき次第で、一に是れ爲政當局者勵精の功に因るものと深く感謝せざるべからずだ而して當面の問題は官民共に着々其事に就き孜々其業に勵み以て半島の開發を急ならしむるにある、惟ふに此開發に就ては天下識者の皆憂とする處であつて殘憾なく攻究せられつゝあるが要するに產業的開發で換言すれば富の開發に外ならない、則ち富の開發にして其目的を達すれば半島の財政は自から獨立するを得、財政の獨立完きを得ば總べての政治問題社會問題は恰かも快刀竹を破るが如く解決せらるゝに到るのである、如今北に南に又西に廣袤なる**新領土**を有する吾が帝國は**其財政の獨立**に就ては少からぬ苦心を費さなければならない、而して其獨立の爲に常に**本國**から種々の**議論や注文**が現はれ殆んど煩に耐へない程である、現に此朝鮮に對しても亦然りであるが是には多少の歲月を要する、嗚呼財政の獨立如何に夫れ急を要し且つ至難の事であるかは實に言語の悉くす處でない。ソコで此財政獨立の大切といふ事は既に何人も認むる處であるが之を實現せしむるには幾多の困難と戰はなければならない、此困難に避易して徒らに手を拱ねて居ては到底其目的を達する事が能ない、則ち万難を排して目的の彼岸に進むの覺悟を必要とする、而して之を實際の上に現示するには今後幾干の歲月を要するかは如何なる人も確言し得ざる可事と信ずるのである乍併吾に政府が**現行關稅を十箇年**間据置く事を列國に宣言せし其心意を忖度すれば此十箇年間に於て總ての問題を解決し半島の經濟狀態も是丈の期間あれば新生面を啓き得べく又其財政の獨立も必ず出來し得べく信じたのであろふ、處で其財政獨立の要素たるべきものは則ち富の開發であつて此富の開發に就ては種々の手段方法が講ぜられつゝあるが歸着する處は一二**個の要件**にしか止まらない、一は**低利の資本を移入**する事二は**勤勉なる內地人**をして**永住**的覺悟を以て移住せしむる事である、而して低利資本の移入に就ては既に充分の研究を遂げ現に東拓會社の社債に因り或は政府の起業公債に據り早晚實現すべきを信じて疑はない然れども永住的覺悟を有する勤勉なる內地人の移民に就ては今日の處にては何等誘勵の途を講じられて居らないように思ふ、彼の東拓會社が主として其衝に當り將に實行せんとして居る移民の如きは果して成功し得べきものなるや否や甚だ懸念に堪へない、顧つて日々續々として關釜海峽を往來する人々を見るに多くは是れ余輩の茲に希望する種類の移民に非ずして謂はゞ腰掛的渡來者に過ぎない、固より一人でも此半島に母國人の多く增加するのは大に歡迎すべき次第であるが、元來富の開發を目的とする上より見れば選擇**都市生活**をのみ好む**遊民階級**では駄目だ、則ち半島を墳墓の土地たらしむべき覺悟を以て渡來する堅實なる移民でなければならない、是等を導くに就ては移住の際に於ける汽車汽船の割引を始め必要資本の貸付其他農業土地の付與等も緊要の條件に相違ないが、夫れにも增して特に最も必要なるものは**永住を條件**とする移民に對して**兵役免除**の**特典**を與ゆる事である。此事たるや如何にも突飛の議論として余輩の愚を嗤ふものあらんも試みに思へ吾が政府は嘗て之を以て北海道移住民を奬勵し又小笠原島にも此特典を與へ而して其過渡時代に良好なる成績を收め得たのでないか勿論之が爲に多少の弊害を見ないではない、例令ば或る不心得者が單に兵役の義務を免れんと欲し、殊更籍を移せし等の事もあるが然れども斯かる奸惡手段に就ては如何樣にでも取締の途がある殊に一葦帶水の朝鮮にして交通の便益今日の如き關係の下に在ては毫も憂とするに足らない、所謂開發急務の大方針より見れば些末事を彼是云爲顧慮するは角を矯めて牛を殺すの愚なるが如しだ、論者或は言はん兵役は國民の義務にして帝國の壯丁たる以上一樣に負擔すべき血稅なりと然り余輩も亦爾かく思ふ、然れども一樣に負擔すべき**血稅**なればこそ之を免除されたるものは國家に對して兵役に服するより**ヨリ以上の義務**を盡くさなければならぬといふ結論に歸着するのだ、假りに余輩の主張の如く血氣の壯丁に對し兵役免除の特典を與へたとせよ、敢へて明確に豫言する事能はざるも十箇年を出でずして**百萬の移民**を導き得べきは茲に斷言するに躊躇しない、若し百万の移民が半島に移入せられ一方低利の資本と相結合して其効果を舉ぐれば產業の開發立ろに成り爲政者は手を拱ねて其目的を達する、而して其結果**財源の涵養**となり**租稅の負擔力增進**して所謂財政の獨立が出來得る。尤も余輩の茲に主張する兵役免除は未來永劫之を行へと言ふのではない唯だ今日の如き過渡の時代に於ては多少の權道を踏むも已むを得ないと信ずるからである、若夫れ財政の獨立以外に於て勤勉なる移民の扶殖は新附の**朝鮮人を社會的に同化**するの効力あるは敢へて絮說を須たない、希くは世の識者は余輩の此主張に對し眞面目に研究せられん事を希望する。

東京電報（七日）

▲東宮同妃御避寒 皇太子同妃兩殿下には七日葉山の御用邸へ御避寒あらせらる

▲朝鮮問題と議會 六日衆議院に於て貨幣整理の債務貨幣整理資金特別會計に委囑の法律案外總督府關係法律案三件の特別委員會を開き右委囑の件法律案は滿場一致可決し次で事業公債法及び事業公債金特別會計法に關し各委員より詳細なる質問あり荒井長官より一々答辯したるも尙は終結に至らずして散會せり▲午後第七分科會に於て殖民地全体に涉り政府の統一方針に付き大臣の出席說明を要求し桂首相、寺內總督出席して桂首相より殖民地行政統一に關する政府の方針を說明し尙ほ半島殖民より拓殖會社の今日の事業狀況及び今日迄の成績にて政府は滿足せらるゝや否やを質問し桂總理より同會社既往の經過を詳述し今日迄の成績は當局に於ては別段不充分なりと認めざる旨說明し尙は將來の方針は合邦に依り多少の改正を要すべき點ある可きも大体は當初設立の目的を變更せず益々是の目的の上に發展を要すべき旨答辯せり（六日）

▲蠶絲統一反對 蠶絲統一案に就き反對起り當業者は續々上京して運動す

▲豫算案通過せん 衆議院に於ける各派は七日夫れ〳〵會合して豫算案查定に就き協議せるが政府と政友會提携の結果大体に於て原案通過の見込みなり

▲四十三年度米作 四十三年度米作實況高を見るに四十三年度は氣溫低かりしと八九月の洪水區域廣大なりしに依り其收獲高四千六百六十三萬二千五百九十三石にして之を前年度に比すれば一割一分を減じ平年に比すれば四分九厘を減じたりと

京城報

●李王の宗廟參拜 李王殿下には七日午前十一時より閔長官、小松次官、尹侯爵、尹贊侍中樞院顧問李載崐、侯爵朴泳孝、子爵閔泳韶等隨へて宗廟に御參拜正午奉審式を擧行され午後一時還宮せられたり

●定例長官會議 七日午前十一時總督府に於て定例長官會議を開き山縣政務總監を始め石塚、倉富、木內の各部長官明石警務總長小松、鈴木、小原の各部長官代理小城、関本兩長官代理列席政務の打合せを爲し午後一時散會したり

●總督秘書官交迭 朝鮮總督秘書官は二月一日附を以て左の如く交迭したり

休職廣島縣事務官 正五位勳四等 桑原八司
任朝鮮總督秘書官（高等官三等）
朝鮮總督秘書官 大城戶宗重
依願免本官

●宇佐美長官歸任 東上中なりし內務部長官宇佐美勝夫氏は十七日歸任せし筈なり

●主計團野外演習 朝鮮に於ける主計團野外作業演習は不日忠淸北道淸州に擧行さるゝ筈なるが右演習參加の爲め憲兵隊附門松主計は去る五日同地に向け出張したり

●松永中將の巡視 第二師團長松永中將は十二日より平壤鎭南浦方面に向ひ守備狀況其他兵の敎育狀態を視察する筈なり

●海流調查と流瓶 農商務省水產局に於ては太平洋日本海及びオコツク海の海流を調查せんが爲め去月より來る六月まで膃肭獸獵船に托し壜を放流せしめつゝある由なるが海流の關係よりして早晚朝鮮沿海にも漂流し來るべきを以て是れを發見したるものは其壜の栓を拔くか又は之れを破壞して在中の郵便はがきに發見の位置等を書きて農商務省に報知されたき旨當局に通告ありたりと

●漢江附近の測量 三月下旬より水路部にては漢江以南龍山半島に至る間を測量する筈なるが由來土地測量は朝鮮人の誤解を招くこと多かりしより當局は其筋に向つて夫れ〳〵通牒を發する由なり

●尙齒恩賜金 京畿道警務部管內に於ける第二回の兩班儒生耆老者に對する尙齒恩賜金下賜に就ては昨年末より道當局に於て屆出者の身上調查を勵行し來れるが此の程右調查全く終了したるを以て京畿道警務部より客年十一月三日即ち天長節の日附を以て去る四日管內各警察署及憲兵分隊に向け夫れ〳〵發送したるが其の管內別に記せば左の如し

警察憲兵名	兩班	儒生
水原憲兵分隊	一七	八
驪州同分隊	七	三
楊州同分隊	一六	一九
京城第一分隊	一八	一四
京城第二分隊	一七	四
龍山分隊	四	二
開城分隊	三	一
水原警察署	一〇	一三
安城警察署	一八	〇
仁川警察署	一〇	五
江華警察署	六	八
金浦警察署	五	七
水登浦警察署	五	五
交河警察署	一一	一二
開城警察署	一九	三
計	一六九	一一四

因に本調查には京城府を除きたるものにして以上に對する恩賜金額は九千九百三十圓なるが之を第一回の夫れと通算せば三万三千三百二十圓なりと云ふ

●朝鮮の愛國婦人會 朝鮮に於ける愛國婦人會は從來主として元理事廳所在地に支部を置き會務を處理せしめつゝありし事業の擴張に伴ひ規則の改正を要するものあるを以て昨冬來本會に於て審議中なりしが今回漸く其筋の認可を經て確定實施されたり新規則を摘要すれば朝鮮本部を總督府所在地に委員部を府所在地其の他便宜の地に設け各部內の事務を處理せしめ朝鮮本部に本部長一名副長顧問相談役職員各若干名を支部に支部長顧問各一名幹事協贊員各若干名を委員部に委員部長顧問各一名委員若干名を置き會務の發展を期する事となりしが其の管掌事項は本會の趣旨を普及せしめ有志者を勸導し入會者に協約狀及徽章を交附する等外會長の承認を經部費を以て朝鮮在留陸海軍人遺族傷病者等の慰問救護其他會務上必要なる事を實行する等也

●婦人界の新思想 朝鮮貴族觀光團に加はりて東上したる朝鮮貴婦人連は歸來寄り〳〵家庭に於ける朝鮮婦人の位置を高めんとの思想を鼓吹しつゝありと云ふ

●特別警戒の好績 高陽其他管內分遣所警視を了へて歸隊せし村田第二憲兵分隊長の談によれば去月十日より實施せる特別警戒の成績は甚だ佳良にして是れが爲め鼠賊は遠く山中に影を斂めたるより村民は何れも高枕安眠に恣る年柄は昔より絶ねて見聞せざる所なりと喜悅し居れるが分遣所憲兵は是れが爲め夜間一睡をも取らず奮勵し居れりと

●司令部の祝賀 來る十一日の紀元節を祝する爲め當憲兵司令部に於て明石司令官以下京城龍山各憲兵將校參集拜賀式を行ふ筈なるが當日は紀念の撮影をなすべしと云ふ

●關釜間の檢疫勵行 新義州豆滿江其の他西海岸一般の防疫嚴重にして滿洲大連方面よりの交通杜絶の姿となりたるを以て近時大連より門司下關等に上陸夫れより釜山を經て入鮮するもの多きを以て警務總監部は七日午前岡本警部を福岡港務部に派し防疫上の打合せを爲し聯合防疫に盡すべしと云ふ

●藤田院長の消息 新義州に於ける藤田院長より六日夜左の如き電報ありたり
本日鐵道郵便稅關等仔細に視察し終つて委員長以下と會し意見を交換し細かに注意を促し將來のことをも議せり明日高橋を伴ひ安東縣に渡り視察する筈通譯も喜んで迎ふと申し來れり

森安博士講演（一）
（總督府醫院に於ける博士）

諸君、今日は非常にお寒い處を斯く多數の諸君に御來會下さいましたことは我々の光榮に存する處であります、只今藤田院長閣下の申された如く私がペストに付いて大体の事を申上たいと思ひますから暫時御聽きの程を願ひます、それでペストと云ふものは我々人類の最も恐るべき敵であると云ふことは私が今此處に喋々申述べずとも之れは少くともペストの歷史が既に證明して居るのでございます殊に現今滿洲の地方に於て此恐むべき處の惡魔が非常に猖獗を極めて居るのでありますので、翻つて朝鮮の地形を考へて見ますと云ふと（此時萬國地圖を指示す）滿洲は此處である、そして哈爾賓は此處であります、でありますからして地勢上から考へましても交通の上から申しましても、早晚は此朝鮮も犯されはせんかと思ふので、其局に當る者は醫者非醫者を問はず目下大ひに心痛しつゝあるのでございます、それ故に今日此處にペストの事に就きまして概畧を申上げやうと云ふのは餘り無益の事で無からふと思ひます、併しながら少々は專門の事に涉りますので餘り面白くはありますまいが、どふか暫時の御靜聽あらん事を願ひます
これより先づペストの歷史に付いて諸君に御話を致しませふ、ペストの歷史は何ふ云ふ風であるかと言ふのにズット古へ溯つて見まするど、御承知の通り醫者の大家即ち醫聖と言はれてヒポクラテスの時代に已にペストの名前がありました、即ち之に就而の記載の醫書にあつたのでございます、其時代にガレーンと云ふ有名の醫者がありまして此人は斯う云ふ事を言はれた、爰に一つの病氣があつて其病氣が一箇所で非常に多人數を犯せば之は流行である、併し其病氣が多くの人を犧牲にする即ち斃すと云ふ事になりると之れはペストであると斯う云ふ定義を下しましたそれでありますから已に其時代がらペストは實に恐ろしいものであると云ふことが分つて居つたのであります、

●仁川民長入城 岩崎仁川民長は或る用務を帶び七日午前十一時入城農商工部及び警務總監部を訪問せりと

●仁川地主協議會 十日午後二時より民團役所樓上に於て土地調查に關し地主連の協議會を開き佐々木事務官臨席して詳細なる說話ある筈

●仁川第一回民會 仁川民會第一回は七日午後七時より民團樓上にて開會議長の選擧を行ふ由

●仁川の紀念祝賀 九日は仁川港に於ける日露海戰紀念日なれば例に依り祝賀をなす筈にて久水府尹、岩崎民長、沼田副會頭發起となり同日午後三時より仁川ホテルに於て紀念祝賀會を催す會費は一人金一圓なりと

●京都博覽會と仁川 來る四月一日より五月三十一日迄京都岡崎町博覽會館に於て京都博覽會創立四十年紀念會全國製產品博覽會開催するに付出品奬勵の爲め其筋より注意あり出品希望者は仁川民團に就て詳細聞き合さるべし

●釋尾旭邦氏東上 朝鮮雜誌社長釋尾旭邦氏は約二週間滯京の豫定を以て七日午前東上せり

▲相場電報
（明治町西村支店着電）

▲大阪株式（三月限）

		（前場）	（後場）
▲神戸	寄	三八、四〇〇	三八、三〇〇
電鐵	引	三八、三〇〇	出來不申
▲京阪	同	六四、四〇〇	六四、四〇〇
電鐵	同	六四、二〇〇	六五、九〇〇
▲大阪	同	六八、九〇〇	六九、一〇〇
紡績	同	六八、八〇〇	六九、二〇〇
▲大阪	同	一〇八、〇〇	一〇八〇〇
電燈	同	一〇八、一〇	一〇八二〇
▲東京	同	一一九、六〇	一一八一〇
株新	同	一一八、七〇	一一九二〇
▲大阪	同	一三〇、九〇	一三一八〇
株式	同	一三一、七〇	一三二七〇
▲關直	同	一三〇、五〇	一二九九〇
取引	同	一三〇、三〇	一三一二〇

▲大阪期米

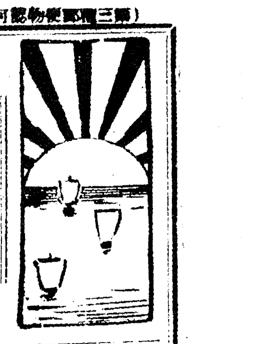
●六日前場二月止十五圓八錢▲三月止二十二錢▲四月止三十二錢▲後場二月寄十五圓六錢▲止不明▲三月寄二十一錢▲止不明▲四月寄三十二錢▲止不明●七日前場二月寄十五圓五錢▲三月寄十八錢▲四月寄三十錢

▲仁川米豆取引

●六日後場二月出來不申▲三月寄十圓九十六錢▲最高低同上▲止九十六錢▲四月寄七十九錢▲最高七十九錢▲最低七十五錢▲止七十五錢●七日前場二三月出來不申▲四月寄十圓六十八錢▲最高六十八錢▲最低五十九錢▲止 十三錢

▲治外法權▼

露國政府は國の領海權を現在の三海浬から十二海浬に擴張したいと各國政府へ申出したソウだ、各國政府が右に對して何と答ふるやは疑問だ▲露國政府が如何なる意味を以て十二海浬說を持出したかは判らぬ、併し現今に於ては三海浬說はモハヤ古い此の點に關する秋山公法博士の說はドウカ▲總督府が森林法と漁業法とを改正するのは所謂机上の改正で良くも惡しくもない、只夫れ狩獵法の制定は吾人の望を得たるものだ▲記者は四十年の秋から狩獵法制定の必要を叫んで居る、據說當局者記者の言を納れず爲めに濫獵到る處に行はれ、貴重の鳥獸其族が將さに絶なんとして居る▲以上記する通りで今日は半島鳥獸族の危機だ、此危機に於て狩獵法が出來る、遲れたりと雖ども無きには增しだ▲東拓下關出張所主任村上とか云ふ小僧が小僧相當な東拓辯護說を下關でヤツて居る、曰く、東拓の不評判は其起因を宇佐川以下各重役が自己を廣告せざりしに歸すと、アー辯護もコウなつては悲慘だ▲試みに聞はん宇佐川が曾つて景福宮で拔露園遊會を催ほし其際大演說を遣たのは何の爲か亦過日新聞記者をソンタクホテルに呼んで大演說をヤツたのは何の爲か▲園遊會に於ける演說、新聞記者團に對する演說、何れも餘程の馬鹿にあらざるよりはヤラヌ事だ、併し宇佐川が馬鹿の稱を受くるを辭せずしてヤツたのは自己廣告の爲だ▲東拓の不評判、其起因を重役の不廣告に歸するのは嘘も嘘宇佐川式の嘘だソレを下關邊りで小僧が小賢するとは怪しからぬ事だ▲仁川で大疑獄が起つた事件審中で發表はされぬが當局のヤリ口は實に痛快な事だ▲新らしき時代は新らしき思想と人物とを要する、此點に於て記者は警務當局の社會淘汰者なることを信ずる。



活動寫眞 覆面子

七日 朝の南大門驛

明け渡る空を見上げた眼には朝日が眩い、街に出づれば一輛の電車は東より來た、ヒラリ飛び乗つて一瞬驛前に下車した、停車場は清掃され撒水も行届いて心持がよい 待合室に見てあれば、寄り來る人は悉く一度は暖爐を一周して出て行く、無意識の習慣は、可笑しい、手荷物を提げた一人の**金線帽**は、傍らの知人に**平壤**へ**鎭南浦に出張**するが分つたものは行つてるだらうか」「行つて居る」との答へを得て彼れが不安の顔の色は消へた、あゝ、此簡單の會話に、僕は勘なからぬ注意を惹起させられた、語りしものは無心だ、聞くものも然りであらう、が**役人**様と云ふ階級のものは案外に無邪氣である、常に上長の頤使にのみ左右せらるゝ、所謂、役人根性は、遺憾なく發揮せられて居る、使命の觀念、丹は彼れに要求すべく餘りに重大である、彼れは只だふは〱として凧の如き頭腦に、**機械的**に動く不生產の**什器**である、高額のマチーは、不生產の什器を鑑賞すべく拂はれつゝあるのではあるまいか、……

浦尾旅館のタイムは進んだ、酒井様と書した小包や、齋藤源七、高橋孝治、などと名刺あるカバンも見へた、いゝいゝ、午前九時三分、後れ馳せの男を拉して釜山行列車は晴れ切つた空の彼方に進み去つた、いゝいゝ、同九時十二分、新義州行列車も、白旗一顆、徐々に遠ざかつた、停車場は深閑として、只朝日が溶ける如く射し流れて風が寒い。

辰子の恐喝末遂

▽田舍藝妓と田舍辯護士

賣物で、そして買物なる藝妓稼業估ふ人氣が元より當藤のれ馴みなれば估はれる方とて油斷はせず精々淨ァべらにれ座なり天窮と云ふ所で御機嫌な伺つて引き退る事になるは斷の然らしむる所にして又理の當然と諦めたのは、性質怜悧の元花月の辰子、先き頃箱棒堅い名の辯護士殿に落籍されて南山町の獨立亭花家れ臨の許より覺束ないながら**樫棒の三味線を杖に**トボ〱の一本立ち鑑札だけは立派な姐さんとなつたるは去年の冬のことなるは曾つて御披露申し上げたることなり さる程に、誰が申しけん昔の蝶にか咽喉許過ぎれば熱さを忘れると云ふことわり此れさへ餘り正直過ぎると思はれるを此の妓は又更らに一層其の上を行く正直さ咽喉迄も行かぬ舌の上でモウ熱さを忘れて終ひ賢女の本性を發揮して**れ福が野村**の方へ引き取られた跡は誰れ憚らず役者狂ひ夫れだつて一枚一本で歩行ける役者ならまだしも見て居るさへ勿体ない**京城座**の**浮田傳兵衛**、曾つて九州福岡の何んとか座で**馬の前脚**を勤めて**オナラ**をした爲めに**放逐**されたと云ふ恐ろしい履歴のある名優にて而して朋輩の**福奴の見捨**てたるアテに關係を付けて一通りならぬ惚け方元來此の傳兵衛たるや只の傳兵衛でなく伊勢松山高木樓に福奴が藝妓勤め中から生きれば仔細ないが首を縊るの焼け死ぬのと馬の脚に猫の見相應な物騷な事を申したこと京城日報子に昨年中素破抜かれたるに依つて明白なり、と書くと辰子と傳兵衛の關係はすモ此の頃の如にあるが然にあらず彼の辯護士に落籍されぬ以前からなので其の證據と云ふも可笑しいが**昨年八月中**彼れは傳兵衛から貰つた惡性の**梅毒**にて**漢城病院**入院中も付添**看護婦**の部子と云に**情**を**明**して浮田を**病室**に**引き入**れ居たることも不敵なれも少々大袈裟だが兎に角十月上旬退院十一月下旬れ福の許へ前記の始末となるの時分も此の**部子**と云ふを**母**なりと詐つて辯護士殿を安心させて浮田引き入れ緑りとし居た内にれ福が前記の始末となつたので跡を**お茶番役者の一福**と云ふ野幇間、共謀して引き受けたからと云ふものは誰れ憚からず太平樂の腹鼓囃子入りで浮田を引き入れるに至つたることも不敵なれ、も少々大袈裟だが其内故に大袈裟でない不敵な量見を出し共謀して旦那に對して**脅迫狀を寄せ手切金強請**と出掛るに至りたるが馬鹿と見へた旦那殿も名譽とやらは知つて居ると見ゆ辰子に對し手を合せ夫れ斗りは勘辨して**三百圓**遣るからに併し今直ぐ浮田とお前が手に手を取つての出立は世間體もあるから一二ヶ月の間を隔いて好いた交情だ何處へでも行つて與れと選擧運動の時でもなければ低げぬ頭を低げて頼んでも先方は其處が附け込み處厭だ〱と**冠**を**横に振**るので辯護士さんも手甲擦つて泣かん計りの有様なるが此所に面白きは母と偽つた部子と浮田が關係して辰子が「**花**」に出た**留守**を乳繰合つて居るとヲ申す人を呪へば穴二つ、チモ恐ろしい世の中ヂャなア、と眞面目になる程ども申されず

●宮中の捕鼠

昌德、德壽の兩宮に於ても惡疫豫防の爲め過日より鼠の驅除を行ひたるは既報の如くなりしが七日までの捕鼠數を聞くに昌德宮は三十頭、德壽宮は六十五頭のよしにして宮中のは又**格別**のもの普通家に於けるソレよりも**肥大**なるのみならず生態の毛色にも大差あり尚ほ奇とすべきは晝夜捕鼠器を据付け置くも**夜間は一切影を藏**め却つて晝間跋扈跳梁を逞くするより此際に於て必らず器中のものとなる趣きは一寸他と風變りと云ふべし

●鮮人の自殺

北部順化坊司宰監内七十二統八戸沈鎬燮(三二)は日韓印刷會社の職工として奉職中の者なるが家政困難を苦にし精神に異狀を失し自殺を謀り阿片を吸含せしも死に至らず裁縫鋏を以て咽喉部を突刺し苦悶中の處を實姉沈姓女に發見され醫士を招ぎ應急手當を施し治療中なるが水門洞分署より警察官並に醫士同行檢視せりと

●買上捕鼠懸賞抽籤

ペスト豫防の爲め警務總監部にては各警察署を督勵して鼠の懸賞買上を爲し居るが來る十日までに買上げたる鼠に對し十二日警務總監部に於て民長、各警察署長立會の上に其抽籤を爲すことに決定したり其懸賞格は左の如し

一等(一本)三十圓、二等(一本)二十圓、三等(一本)十圓、其他五圓、一圓の賞金多數

●各署の鼠買上數

各署の鼠買上數北部署四百三十五西大門分署三百二十東大門分署二百六十五南部署百十二水門洞分署九十二銅峴分署八十七龍山憲兵分隊三十一同警察署十八匹

●人間が降る

日韓瓦斯會社職工洪漢明(三二)は六日午前十時頃南米倉町入口にて電燈柱に作業の爲め登りたるに梯子傾きたる二十尺の處より墜落人事不省となりしが漢城病院に入院治療中なりと

●あい子の手柄

仁川新昌洞入統三戸徐澤賢の妻趙氏(四二)は豫て姙娠中の處七日午前六時頃より產氣付きしより一室にて用意し分娩に掛りしも体兒の頭丈け出でたる儘身体は如何にしても分娩せず頗る難產にて產婦は七轉八倒に苦しみ居るを目下仁川面職所に出張中なる水原慈惠病院に診察を依頼し來たりしより幸ひ同院の擧を發し無給にて手傳ひ居る新町一丁目產婆藤田あいが直ちに往診し手當を施したるもあい子の同家へ着きしは十一時頃なりしかば產婦は長き間苦しみ居りし事とて最早力も盡き唯だ死を待つの有樣なるにあい子は非常に苦心し同人を抱へ力を付け漸く分娩せしめたるが生兒は間もなく死亡したるも母親は危き一命を助かり非常に悦び居る由因に七日同院の無料診察患者百五十名に及びたりと

●硝子四十枚

龍山期町二丁目一五五番戸の家屋内に積みありし硝子板四十枚程竊取せられたるは去る一月二十五日頃なりしが其後同地田町二二番戸石原磯次郎雇人中塚方に忍び入りし曲者を其構に取押へ警察署に突出したるが嚮きに竊取したる犯人は京城北部弘濟院に住する丁順化(四三)なるものと判明警務局に送らる

●精神病者の家出

仁川松林洞六統七戸居住金雲於(五七)先頃より精神に異狀を來せしより家内の者注意し居る中七日午後七時頃足袋跣足の儘家出し行方不明

●度支部廳室の燒失

(六日午後七時三十分京城西部孔德里なる度支部醸造檢査所内廳室より發火し午後十一時鎭火したり損害高金百圓なりと

●温突二間半

七日一時三十分京城西部仁達坊田賀洞八十八統温突より發火し同温突二間半を燒失し同一時五十分鎭火したり

●仁川捕鼠買上數

捕鼠買上開始以來仁川に於ける捕鼠買上數は六日迄二千百三十九頭なりと云ふ

酒一切斷の事

▽料理屋の共同決議

是迄長崎市内の料理店にて宴會を開く際酒丈けを主催者側より持ち掛けて自から烟燗を勸め料理屋は料理のみ仕出して酒の方には關係しないと云ふ古くからの風習もありたるが右により各料理店の蒙る損害尠からずとあつて一般同業者協議の上今後は此の持込み酒を一切斷りすることゝ決議し本月五日を以てこれを發表したが何も客の方から酒を持ち込んだからとて「之れが爲め料理店の蒙る損害尠なからず」とは可笑しい之れは料理店の儲ける所少なきを以てと訂正して然るべしであらう

●浪花館のぞ記(上)

二月五日の夕「此た寒いのにマー何んですか物數奇な」とは我等二人の義太同好が浪花館へ行かんとて評議に對する細君連のれ言葉なり、されど好の途には雨も風も何のものかは況して寒さ位はびくともせぬど、いやがる細君連をも引張り出して同館へはいつたのが正に八時半、今夜が七日目で、見渡すところ二階も階下もザットと一杯先づ好人氣、此所繁昌どはめでたし〱明治町四辻の廣告招牌に「大阪新下り若手花形」とありしは全く嘘ならで、今しも高座へ上りしはまだ十七八の源八嬢今夜のだし物は「油屋」にて此嬢未た聲がさびれず「油屋」には無理な咽喉、其苦心も思ひやられて氣の毒ながら正面に許せば「れこん」を除き「貢」も「萬野」も物にならず今後十年の修業を要すべく又成るべく此嬢は斯る語物を出すのが不適當で損なるべし、次は高助嬢の「寺子屋」出し娘盛りを過ぎた姥櫻なれど又確かに花形で、品もあり容色もよし、殊に絃は大助丈のことゝて引立たぬ筈はなく、落付といひ力といひ遺憾なく面白く聽かされたり、松王の嗽入から寺子の呼出し何の苦もなく引續いて首實見。松王千代の口說も能く與情を寫し、「サワリ」もサラ〱として而もチャァ付かず只松王の泣笑が少し物足らぬ心地したりしもこれは要求が多過ぎるべく、東京邊りで「眞」を打つても決して恥しからぬ伎倆なり、此容色と此腕、一層一層勉强さるれば此社會の立物となるは敢て難からざるべし其次は當年十歳の可愛らしい子供、其頭髮が見台を越すか越さぬ位の幼き身で「千代」栄御前の出から語り出し政岡の口說の「サワリ」十分型にはづれたどころなく年に甞ての伎倆あればこそ餘り苦しさうにもなかりしは何より嬉しく前途大に有望に、且つ確かに花形の蕾なら請ふ專心修業あれ(ものと字投)

●演藝だより

●京城座 毎夜觀客滿席大入氣なる兄弟劇團八日の藝題は「七化けれ新」全十二場にて役配は左の如し

父五作(松澤)れ新(堀江)正木良一(吉井)地當也德次(小泉)山村(江見)

●歌舞伎座 開演中なりし革新劇一行も連日の喝采にて打揚げ今回東京大阪男女合同劇一座八日より花々敷く開演の由にて觀劇料は前例無き木戸入錢並場十五錢上場廿錢特別四十錢初日の藝題は式三番引抜きだんまり、相馬の旅聚瀧夜叉姫七場にて役割は

瀧夜叉姫(市川正三郎)碓水荒太郎(阪東鶴二郎)浦邊六郎(中村淺吉)姫松(市川福司)關ヶ太郎(中村花笑)荒太郎父(中村尾の吉)手下鳥吉(市川鯉升)醫者齋藏(阪東和調)なり

●浪花館 引續き好人氣なる大阪女義太夫越之助一座八日の語り物は

御殿儀實入船(入登)白石噺七ッ目(濱助)梅野由兵衛聚樂町(越濱)朝顔日記宿屋ヶ段(若大)三十三所壺坂寺(土佐濱)先代萩御殿(源入)布引瀧四段目三人上合(高助)れ駒オ三鈴ヶ森(越子)宿與團七岩井風呂(越之助)れ染久松野崎村(掛合)

●正誤 貴紙二月五日發行六百十九號三面記事中寡婦の不必得と題し南部廣通坊上茶洞六統九戸池召史を小牛愛婆の如く御掲載ありしも右池召史とは何等更に關係無之候條御取消相成度申込候也 二月六日 李晃宇 印 京城新報御中

今日の運勢

●二月八日舊正月十日 一白 巳 酉儀滅危△一白 ●纏れ易き日婚談新事談合旅行宴會出帆祝典に凶遺失盜失防くべし△二黑● 紛議解決示談裁判談判分離の外手控への事色情及負傷の難注意の事△三碧● 不和散財事あり盛運の日大抵吉外に交渉掛合相談委嘱に吉△四綠● 縁約婚談連盟統一の事纏り難し他は進んで吉散財離間中絶を戒しむ△五黃● 間違貸ひ違ひ多し賣買貸借金談婚談設計連盟旅行移轉効無し遺失防くべし△六白● 不和葛藤の纏起り易し他は盛運の日殊に業務上進んで吉△七赤● 新事吉△八白● 新事婚談相談訂約金談貸借旅行雇入れ子孫の事に忌む他は進んで金品投受故障起り易し遺失及屈辱の恐れあり△九紫● 起業開店婚談見合せの事尚其他不如意不振に了り易し農林業に吉(本町五丁目三一館判斷)

●諸公債諸株券 現物賣買
迅速確實に御取扱可申候兼業
洋服小間物 官衙御用達
京城本町三丁目
大阪野村德七代理店
田中友吉商店
電話九三九 振替(七一)

ライオン歯磨（はみがき）

代理店
京城南大門通り三丁目 新井藥房 電話千六十八番 九百四番 振替口座京城十六番
京城本町三丁目 森久商店

貨物運送取扱
關税貨物取扱
危險擔保付運送品
代金附貨物運送
貨物引換證發行

內國通運株式會社
京城南大門驛前 京城支店 電話七〇八番 電話一七九番
仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番
草梁驛前 釜山出張所 釜山驛前電話六一六番 草梁驛前電話五三七番
龍山驛構內 龍山出張所 電話二〇六番

英米煙草會社京城代理店
千代田相互保險會社京城代理店
京城本町貳丁目
和洋金物商 佐野彦藏商店
電話一六三 振替口座韓國一二〇番
洋釘、垣用線、銅眞中板亞鉛板各種銅眞中線並に針金
各種土工用具農具一式〇仙德火鉢鑄物火鉢各種生花用具
一式〇建築金物一切其他鍋釜鑄物類一切

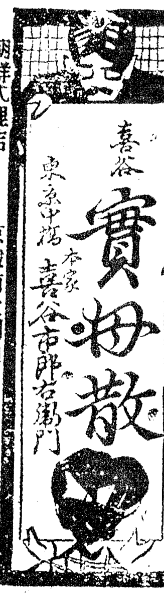
義齒術全般
京城旭町一丁目
齋藤英壽
電話一四一四番

紙と印刷
諸官衙御用
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
播本（ハリモト）商店
京城本町六丁目 電話百拾番

世帶道具は何でも有り升
外に宅ノ酩酒手ヨリ白米和洋ローソク
上白シメ油㊅醬油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉强販賣仕候間續々御用命奉願上候
日用雜貨卸問屋
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話二百十番 電略(ニカ)又ニ
振替貯金口座韓國七番



代理店 京城南大門通三 新井藥房



朝鮮代理店
京城南大門通り
新井藥房

石炭
唐津石炭各種
平壤無煙炭
三池粉炭
筑後炭各種
塊石炭
鍛冶屋用
粉炭
並に
煉瓦製造廉價販賣
石灰（生石灰 フカシ灰）製造販賣
仁川支那町一丁目(運輸部橫)
八田利三郎本店
電話六十二番地
龍山元町一丁目
八田石炭部
八田利三郎支店
電話五五三番

齒科診療
京城南山町二丁目(天眞樓隣 寫眞館跡)
齒科醫 楢崎東陽
電話千三百六十番

酒精アルコール
直輸入元
仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ)
坂倉支店

統監府及
諸官衙御用
荷物運搬
引越荷物受負
伊藤組
電話四〇番 本町三
電話七三二番 南大門驛
電話九四八番 大和町
電話一六〇八番 同 第二

家傳
名灸（といや）
●うちみ くじき はねつき
特に胃腸病 かつけ 專門
毎日午後二時迄點灸す
明治町一丁目百十番戶
荒川マッサージ院

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話 長二三番 四九二番
日本室和食
特等 (三圓五十錢 壹圓)
一等 (二圓五十錢 壹圓)
二等 (二圓 八十錢)
三等 (一圓五十錢 六十錢)
(壹圓 五十錢)

銀行一般業務精々御便利に取扱申候
資本金 三百萬圓
積立金及繰越 九十九萬五千圓
株式會社 十八銀行 京城支店
京城南大門通(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店出張所
朝鮮 京城、龍山 仁川、木浦 釜山、元山 羅州、群山
日本 熊本、大阪 佐世保、嚴原 五島、壹岐
其他日本朝鮮樞要地及露領浦鹽に爲替取引先有り
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

M.C.C.
土耳古 紙卷 エムシーシー
專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

清正醸造元
正宗
正則
上酒 小賣壹升に付三十錢
卸賣は特別割引可仕候
清酒 味淋燒酎並に各用食料品雜貨類
釀造元 京城壽町三丁目 中井酒造場販賣部 電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

諸金網製造販賣
鑛山用 製紙用 精米用 織綱一式 篩類一式
其他御好次第
右今般當店監獄作業部ニ於テ製造開始致候ニ付多少ニ不拘御用命仰付被下度候也
和洋金物商 京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番電略「クギ」
振替貯金口座朝鮮二五六番



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島壽藏
(電話四百十二番)

人力車及附屬品
並に
教育玩具
壹割引大安賣
京城明治町一丁目漢城病院前元尾川商店跡
吉岡商店
電話一千八百四十番

營業科目
諸官衙御用
和洋紙類
印刷材料
印刷インキ
和洋雷管
防腐アレン
穀物食鹽
[illegible]
發賣販賣
東京 サンバーグ商會代理店
東京 中外アスファルト[illegible]
東京 千代田[illegible]
東京 [illegible]文[illegible]行[illegible]
東京 [illegible]行[illegible]
[illegible]
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話三〇番)
出張所 東京日本橋區新右衛門町一丁目(電話新橋三六九二番)

土地建物鑛山株券賣買
小林藤商店
貸家管理の囑託を受く
一百町餘の果樹園適地買入たし
田、畓、山、金鑛、銅鉛鑛買たし
商品其他擔保に貸金す
市外田畓山林未墾地鑛山賣物あり
市內家宅賣物數多あり
京城明治町三丁目
電話六五五番

許可 牛乳 辨當
其他購求品納入
京城監獄拘置監東隣
豐木差入所
電話一八三〇
弊店の特色は叮嚀、精撰、勉强、廉價
御注文の際は弊店看板商標御注意を希ふ

●エールリッヒ氏新梅毒注射藥到着致候御希望ノ者ハ御來院アレ
●內科小兒科
外科花柳病
●入院隨意
京城旭町三丁目
十全病院
電話七三七番

瓦斯コークス販賣
京城黃金町高等演藝館隣
酒井組
電話二一四九番

純良消毒牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話千六十九番

キ
二月中出帆廣告
海州行 天草丸 十日、十四日、十八日、廿二日 廿八日、
安來丸 八日、十二日、十六日、二十日 二十四日、廿八日
灣津富里浦屯串行 三省丸 八日、十日、十二日、十四日、十八日、二十日、廿四日、廿六日
千葉丸 十日、十二日、十八日、廿日、廿
成歡丸 二日、廿四日、廿六日、廿八日 十四日、十六日、廿日、廿二日 廿八日
舊島行 千葉丸 十四日、十六日
成歡丸 九日、十一日
三省丸 十九日、二十一日
仁川本町四丁目
合資會社 秋田商會船舶部